

2022年11月28日神奈川県私立幼稚園研修 3

0 1 2 歳の保育実践の基本

井桁 容子

非営利団体コドモノミカタ代表理事

乳幼児教育実践研究家

乳児保育の基本

幼保連携型認定こども園教育・保育要領 及び保育所保育指針

第2章 ねらい及び内容並びに配慮事項

基本的事項

- 1 乳児の発達については、視覚、聴覚などの感覚や、座る、はう、歩くなどの運動機能が著しく発達し、特定の大人との応答的な関わりを通じて、情緒的な絆が形成されるといった特徴がある。これらの発達の特徴を踏まえて乳児保育は、愛情豊かに、応答的に行われることが特に必要である

科学的根拠のある乳幼児理解の重要さ

- ・ **ヒトの生物としての特性と子育ての歴史の理解**

ヒトの脳の成熟には25年かかる
「共同養育」により、進化、生存してきた

➡ **正しい保護者理解が必要**

- ・ **脳の発達第1感受性期**

過形成から刈り込み（生後8ヵ月ごろ）
生きる環境に適した脳は7～8歳で完成

➡ **乳児期からの環境の重要性**

- ・ **身体接触や共感されないと生存できない**

内受容感覚（身体内部の感覚＝内臓感覚）

外受容感覚（身体外部の知覚＝五感覚）

自己受容感覚（身体＝環境の行為で生じる感覚 筋、関節、平衡感覚）

➡ **アタッチメントの重要性**

悩み相談のエピソードから考えてみましょう

1. 保護者が園に協力的でなくて困ってます。
2. 「1歳児の食事を習慣づけのために一斉に食べさせるように、と主任に言われた」

◇ 「養護と教育を一体的に行う」

安定した大人との関係と

温かく、受容的、応答的な環境で

遊びや生活が豊かに展開されることが重要

◇ 「子どもの最善の利益を考慮」

「集団保育だから」ではなく、子ども一人一人にとって

新保育指針 総則

2. 養護に関する基本的事項

(2) 養護に関わるねらい及び内容

ア 生命の保持

(ア) ねらい

③一人一人の子どもの、**生理的欲求が、十分に満たされる**ようにする

イ 情緒の安定

(ア) ねらい

①一人一人の子どもが、**安定感をもって過ごせる**ようにする。

②一人一人の子どもが、**自分の気持ちを安心して表す**ことができるようにする

③一人一人の子どもが、**周囲から主体として受け止められ、主体として育ち、自分を肯定する気持ち**が育まれていくようにする

④一人一人の子どもが**くつろいで共にすごし、心身の疲れが癒される**ようにする

生活の中の関わり
の質の重要性
保育は集団で束ねることではない

2歳児の

このような遊びから 見えてくること

集中力

バランス感覚

創造性

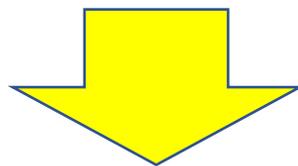
美意識

自由な心

安心・安定が保障されている環境

「子ども理解」は

子ども一人一人のよさや可能性などを把握して
最善の利益を考慮し、**保育の改善**に生かすために大切



温かく、共感的、応答的な保育

理解 = 愛

「保育アカデミー」佐伯胖 氏（心理学者）×井桁との対談より

D どうして

N なん

D だろう



人とのつながり、
興味の範囲、思考が
広がる

アタッチメントの再確認

- アタッチメントの保障は、子どもの権利
- 「してあげる」ことではなく、「求めに応じる」
 - 情緒的利用可能性
 - 温かく、受容的、応答的（保育所保育指針）

内受容感覚（内臓感覚）が大事！

- アタッチメントは子どもだけではなく、大人にも必要

Well-being

「あるとき、私は
子どもの行動を
表現として見ることを発見した。
行動は子どもの願望や悩みの表
現であるが、それはだれかに向
けての表現である。
それは、答える人があって意味
を持つ。」

『保育者の地平』 津守 真著 ミネルヴァ書房

倉橋惣三 『育ての心』 上 (フレーベル館)

その人の味はうっかりしている時に出る。

うっかりしている時に出る味でなくては、

真にその人の持ち味とはいえない。

教育の一番ほんとうのところは、しばしば、

その人の持ち味によって行われる。

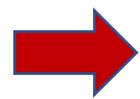
……中略

うっかりという言葉、うっかりする動作、出合いがしらに、

うっかりと見せる顔……

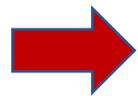
専門性の高い保育

さわる



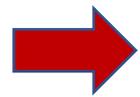
触れる

教える



提案する

点でみる



つながりで見みる

子どもを

根拠をもって信頼する、
温かい人であればいい

一つの正解を覚えるよりも

今、自分にできる

最適解を出せる人に！



「大人の指示通りにできる」

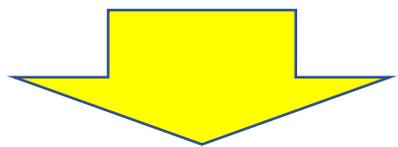
では

考える意欲、生きる意欲は育たない

パターン化された保育

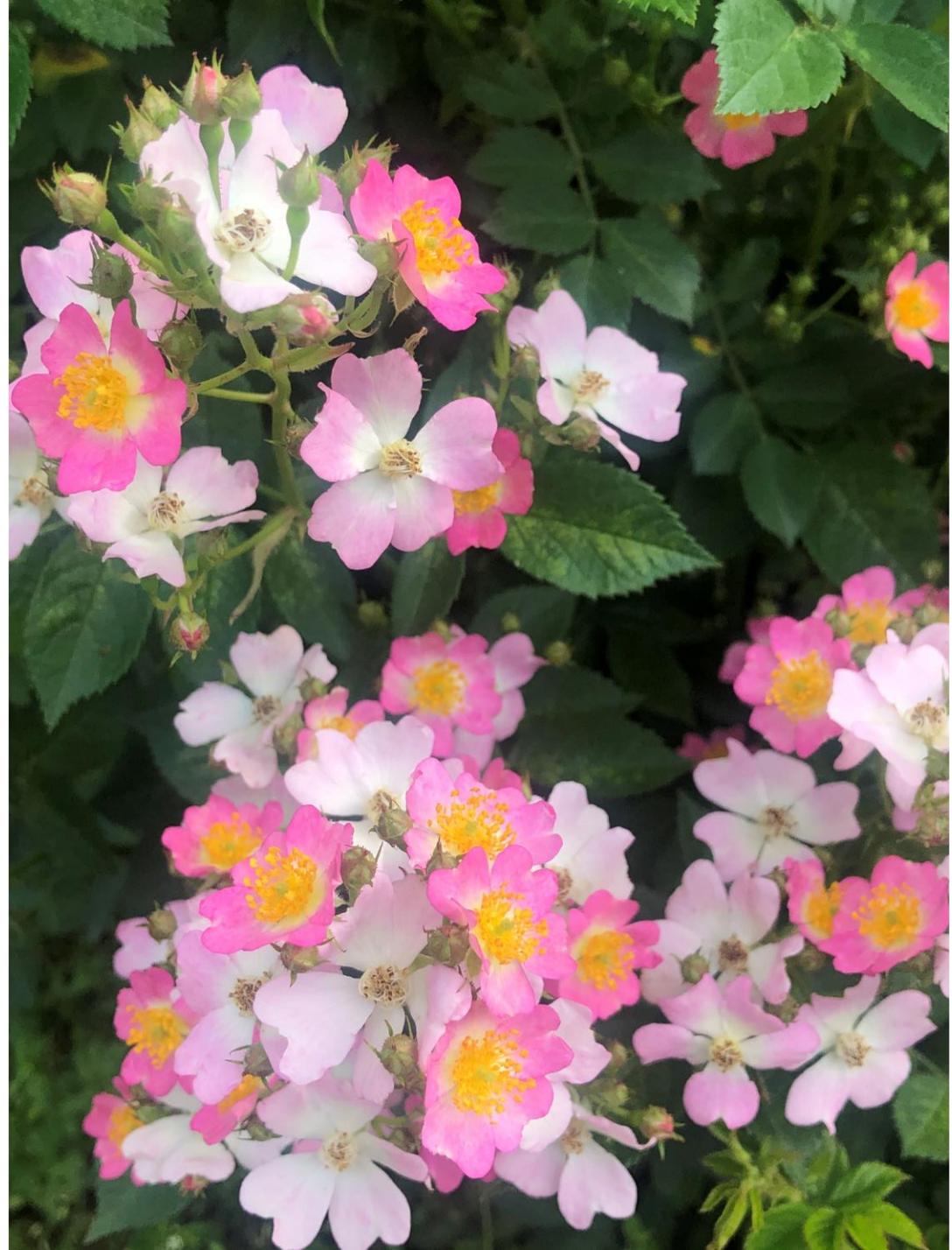
結果を急ぐ保育

言葉に頼りすぎの保育



人として

生きる楽しさに気づく保育



手間暇がかかることが苦手な今の大人たちへ

「急いで事は仕損じる」

大事なことは、手間暇かかって育つ

人は手間暇かけたことに愛が育つ